

せいけん  
詩集

第二十六篇

作：近藤せいけん

## 「孫未来」

二人の孫が 二階への階段を

いきおいよく 駆け上がって 来る

「私が 一番」「いや 僕が一番」

いつもの 他愛無い 競争

僕は大きくなったら「仮面ライダーになるんだ」

私はね「プリキュアになるの」

孫たちの 目がキラキラ 光る

夏の 日

私の孫 そして その子供を ひ孫

またその子供を 来孫(らいそん)

またその子供を 昆孫(こんそん)

いつまでも 続く 人の絆

だから 長生きして

見てあげなくちゃ